

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ア	安全・安心に暮らせる地域づくり	施策	① 地域安全対策の推進
			施策の小項目名	○安全・安心を支える社会基盤の構築
主な取組	警察基盤整備事業			
対応する主な課題	①犯罪の起きにくい沖縄県の実現を図るため、警察安全相談体制、人材育成や施設整備など警察基盤を強化するとともに、犯罪被害者の負担軽減・早期被害回復を図るため、犯罪被害者に対する支援活動を推進する必要がある。 また、刑法犯認知件数は減少しているものの、子ども・女性に対する前兆事案の増加など、県民の体感治安としては未だ十分とはいえず、取組の充実強化を図る必要がある。 さらに、サイバー空間の脅威が深刻化する中、サイバー空間の治安維持に係る取組を強化するとともに、県民のサイバーセキュリティ意識の向上を図る必要がある。			

1 取組の概要 (Plan)

取組内容	年度別計画				
犯罪の起きにくい沖縄県の実現に向けた強い警察基盤を確立するため、警察施設の計画的整備、警察官の資質の向上、交番相談員の配置による交番機能の充実・強化のほか、緻密かつ適正な捜査を推進するため、各種装備資機材の充実・強化を図る。	H29	H30	R元	R2	R3
	警察庁舎整備(警察署、交番・駐在所等の整備)				
	交番相談員の配置による交番機能の充実・強化				
実施主体	県				
担当部課【連絡先】	警察本部警務部警務課 【098-862-0110】				
	警察学校等における教育訓練等				
	交番・駐在所等のセキュリティ対策の強化				

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位: 千円)										
予算事業名	警察庁舎等整備事業(補助事業)									
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
県単等	補助	181,177	240,076	113,534	189,887	208,151	当初予算額	主な財源	○R3年度: 繰越を含む3施設で、前年度繰越の多良間駐在所、令和3年度予定していた中之町交番及び安田駐在所の整備を完了した。 ○R4年度: 老朽化した警察施設を計画的に整備するため、米須駐在所、白保駐在所の建替え及び豊崎交番の新設を行う。	
予算事業名	警察庁舎等整備事業費(単独事業)									
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
県単等	直接実施	—	—	—	240	51,062	—	主な財源	○R3年度: 宜野湾市の事業による金銭補償で、普天間交番の移転建替を完了した。 ○R4年度:	
予算事業名	捜査第一活動費									
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
県単等	直接実施	1,751	1,750	1,755	1,755	327	—	主な財源	○R3年度: これまで使用の検視支援装置に代わり、令和3年7月から警察庁から配布された端末(動画送受信可能な端末)を使用して、誤認検視の防止に努めた。 ○R4年度: 上記のとおり、警察庁配布端末を使用しているため、予算事業措置はないものの、引き続き、誤認検視の防止に努める。	
予算事業名	職員費									
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
県単等	直接実施	80,388	75,975	76,757	103,087	102,949	105,348	主な財源	○R3年度: 交番の機能強化を目的に、交番相談員による地理案内5,047件、遺失物・拾得物届出受理9,595件等の支援活動を実施した。 ○R4年度: 交番の機能強化を目的に、引き続き交番相談員36人を12警察署に適正配置し、県民の安全・安心を確保する。	
予算事業名	運営活動費									
主な財源	実施方法	H29年度 決算額	H30年度 決算額	R元年度 決算額	R2年度 決算額	R3年度 決算見込額	R4年度		令和3年度活動内容と令和4年度活動計画	
県単等	直接実施	25,454	32,060	24,570	6,810	11,132	22,436	主な財源	○R3年度: 警察学校等における各種教育訓練等を378人が受講した。リモート方式の教育訓練を実施したことにより派遣が減り、派遣費の執行は減少した。 ○R4年度: 新型コロナウイルスの感染状況に配慮しながら、教育訓練の継続や派遣維持に努める。	
活動指標名	警察庁舎整備(交番・駐在所)						R3年度	R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要 令和2年度繰越しの1施設、本年度建替予定の3施設の建替を完了した。 新型コロナウイルス感染症の情勢等により一部の研修を中止したり、研修途中に自宅待機となり欠席する職員が見られたものの、各種教育訓練を378人が受講した。
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	3施設	3施設	1施設	4施設	4施設	4施設	100.0%			
活動指標名	交番相談員の配置						R3年度			
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	38人	38人	37人	36人	36人	36人	100.0%			
活動指標名	警察学校等における教育訓練等						R3年度	71.3%		
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	493人	514人	506人	420人	378人	530人	71.3%			
(2) これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化の著しい交番・駐在所に対し、優先順位を決めて建替整備を図る。</li> <li>最新の検視支援装置を導入して現場臨場が困難な地域においても現場支援を迅速に行い、犯罪死体の見逃しを防止する。</li> <li>交番相談員の判断能力向上に資するための専門的な指導・教養の充実及び取扱いの多い交番への優先配置に努める。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、警察官の資質向上のための教養を実施する。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>交番・駐在所の建替については、前年度に設計、次年度に建替工事を行うことにより、計画的に早期の予算執行が可能となった。</li> <li>これまで使用していた検視支援装置が令和3年6月に契約切れとなったが、警察庁から配布された端末(リアルタイムでの動画送受信可能な端末)での代用が可能となったことから、同端末を検視支援装置を使用している。</li> <li>交番相談員の配置について各警察署と連携の上、相談受理、遺失物・拾得物等の取扱いが多い交番へ配置すると共に、新任交番相談員会議を開催し相談に関する教養及び遺失・拾得物管理システムの取り扱い教養を実施</li> <li>警察官の資質向上を図るため、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、長期県外研修への職員の派遣、県内における語学研修、警察学校における教育訓練を実施した。実施に際しては一部リモートによる講義も実施した。</li> </ul>				

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)	
○内部要因	○外部環境の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化の著しい交番・駐在所が多いため、優先順位を決めて建替整備を図っていく必要がある。</li> <li>令和3年度途中から警察庁配備端末を使用しているが、県費で配備した装置と同様に電波受信が不安定・画像のフリーズがある。</li> <li>多様化する各種相談や県民への適切な対応を図るため、交番相談員の判断や対応能力の向上を図る必要がある。</li> <li>業務等により職場を離れることができず、職員の警察学校への派遣を中止せざるを得ない状況が生じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>警察施設(交番・駐在所)の移転・統合・建替は、都市化や都市整備計画等の社会情勢の変化にも左右される。</li> <li>高齢化社会や新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、警察が取り扱う変死体が増加傾向にある。</li> <li>事件に関する相談から軽微なトラブルまで、高度な判断力を必要とする相談が増加傾向にある。</li> <li>新型コロナウイルス感染症のまん延により、職員が集まる教育訓練の実施がより厳しくなっている。</li> </ul>
(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化の著しい交番・駐在所が多いため、優先順位を決めて建替整備を図っていく必要がある。交番・駐在所の施設整備にあつては、毎年度3施設程度の整備を行っているが、老朽化が進む施設が数多く存在し、建替施設を3施設以上に増やすことも検討していく必要がある。また、全国的な建設需要の増大に伴い、入札不調が相次いでいることから、整備手法の見直しも必要である。</li> <li>更なる誤認検視の防止に向け、使用端末のバージョンアップ等により、高速データ通信・高画質化を実現する必要がある。</li> <li>多様化する相談に適切に対応するため、継続して交番相談員の判断力や対応能力の向上を図るべく、交番相談員に対する教育訓練等を実施する必要がある。</li> <li>個々の職場で教育訓練等を受けることができる環境の更なる整備</li> </ul>	

4 取組の改善案 (Action)

<ul style="list-style-type: none"> <li>社会情勢の変化等を踏まえた、警察施設の建替整備を実施する。</li> <li>最新の動画送受信端末を導入して、現場臨場が困難な地域においても現場支援を迅速に行い、犯罪死を看破する。</li> <li>交番相談員の判断能力向上に資するための専門的な指導の充実及び取扱いの多い交番への優先配置に努める。</li> <li>リモート方式による教育訓練の実施を推進し、職員がそれぞれの職場で教育訓練を受けることができる環境の更なる整備を推進する。</li> </ul>
---